



## 十和田ホテル本館の建築について

町史編さん委員 澤田 享(近代化遺産担当)

十和田ホテルは、十和田湖の鉛山地区の湖面から約50mの風光めいびな高台にある。建物はブナ林を中心とする広葉樹林に包まれ、湖面を軟らかに眺望できるよう、意識的に意図された工夫がある。

昭和10年(1935)十和田湖観光道路が完成、翌年、湖一帯が国立公園に指定された。当時の秋田県知事児玉政介は、観光開発のさきがけとして十和田湖にホテル建設を計画した。設計は日本大学専門部工科講師の長倉謙介博士(筆者の恩師大岡實博士は長倉氏より1歳後輩で東京帝大工学部卒、職場も同じであった)が担当し、八幡平湯瀬ホテルを経営していた関直右衛門が工事と経営を引き受けた。

昭和11年(1936)北東北3県の宮大工約80人が集められ着工、同13年(1938)秋に竣工し、翌14年6月に「秋田県営十和田観光ホテル」として開業した。後、第二次世界大戦による営業の中止、戦後の進駐軍の接収など幾多の変遷を経た。昭和27年(1952)に営業を再開したが、時代の変化により5回に及ぶ時流の増築が行われた。

建築後、半世紀を超えた十和田ホテルは老朽化が著しく、修復を重ねても設備や安全性が現代の一流ホテルとは言えない状態であった。しかし、当ホテルの歴史、文化的価値が高く再評価され、当初の姿に復旧することが決定した。

修復計画は県庁関係者が立案し、平成7年(1995)秋にその案の最終確認のため、専門家の故・工藤圭章博士(文化庁建造物課鑑査官、筆者の兄弟子)、筆者、修復設計者により精査が行われた。

その修復の大綱(県、工藤、澤田が立案)について、外部は、①外壁;既存の形式・デザイン・使用材料は基本的

に変更せず、新材料に置換する。②建具;アルミサッシを木製サッシに戻し、視野が広がるよう開閉方法を考案する。

屋根は、大屋根の雨水が下の庇(ひさし)に当たらないよう、大屋根を延長して外壁の庇を短くする。カラー鉄板葺(ぶき)を、滑雪しやすいステンレス段角葺に変更する。

内部は、①エントランスホール・吹抜部;本館の象徴であり、創建時に復原する。網代(あじろ)編み部を除き酸洗する。②客室;中庭側のサービス諸室を撤去して廊下とし、既存廊下部分を利用して8畳から10畳に広くし、バスやトイレは新材料を用いる。客室の特徴ある床の間は現状保存とする。

かなり専門的なことを記したが、筆者も尽力し、平成15年(2003)国登録有形文化財への登録に至った。当ホテル本館の外観は北欧風の様式、内部はそれを一変したごとく、ほぼ純和風の様式であることが圧巻だ。

中でも特筆すべきは、各客室の意匠が全て異なっており、さすが北東北の宮大工(数寄大工?)が、各客室を与えられて腕前を競ったことは想像に難くない。加えて日本三大美林の一つ、秋田杉を豊富に用い、その上、床回りは現在では入手不可能な高級南洋材を付加して、客室の格調を更に高めている。

前述の長倉博士の活躍については資料が残らず、恩師大岡博士に尋ねれば、かすかであろうが何か手掛かりが得られたであろう。残念であるが、当ホテルとの出会いが遅すぎた。

現在、国文化財指定の範囲は近代建築に及んでおり、「秋田杉の館」と称される当ホテルについても、国指定の検討の余地を十分残しているだろう。

## 大館税務署からのお知らせ 確定申告の相談・受付

令和2年分の所得税の申告相談を次のとおり行います。

- ◆確定申告書作成会場/大館税務署  
※駐車可能台数に限りがありますので、ご来場される場合は公共交通機関をご利用ください。
- ◆設置期間/2月1日(月)~3月15日(月)(土・日・祝日を除く)
- ◆開設時間/9時~17時  
新型コロナウイルス感染防止対策のため、会場への入場には「入場整理券」が必要となります。配布方法は次のとおりです。
- ①税務署での当日配布:当日分の入場券を税務署で配布します。受け取った入場券に記載の時間に会場へ来場してください。なお、発行枚数に限りがあります。
- ②LINEでの事前申込み:LINEを活用した事前申込みです。LINEから申し込む場合は、国税庁公式アカウントの友だち追加が必要です。

友だちの追加は右のQRコードから行えます



★会場の際には、全ての方に検温を行います。37.5度以上の熱がある方や検温を拒否する方の入場はお断りします。

◆お問い合わせ先 大館税務署(Tel.0186-42-0671)

## 第9回 KOSAKAアカシアスプリント大会 開催のお知らせ

今年度のKOSAKAアカシアスプリント大会は、当初12月の開催を予定していましたが、次のとおり日程を変更して開催します。詳細は町ホームページをご確認ください。

多数の参加をお待ちしています。

■期日 2月28日(日) 競技開始9時30分~

■会場 小坂町記念陸上競技場・野球場特設会場コース

### ■競技種目

1. 中学生(1・2・3年生) 男・女800mクラシカル
  2. 小学校高学年(5・6年生) 男・女500mクラシカル
  3. 小学校中学年(3・4年生) 男・女500mクラシカル
  4. 小学校低学年(1・2年生) 男・女150mクラシカル
- ※幼児含む

### ■お問い合わせ先

KOSAKAアカシアスプリント大会実行委員会事務局  
(セパーム内 TEL.29-2069)